

未来をひらく

(1) 小学校外国語活動補助事業



英語教育の 充実について

小学校高学年の児童が、外国の言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の素地を養うことを目的として、A・L・T（外国語指導助手）を小学校に配置しています。

小学校五・六年の学級担任がA・L・Tを活用して、工夫しながら外国語活動の授業を行っています。また、低・中学年の児童も校内でA・L・Tと出会ったときに、あいさつしたり、学校行事等に共に参加したりするなど、外国人や英語に触れる機会として活用しています。

(2) 中学校・高等学校外国語指導助手配置事業

北九州市立の中学校・高等学校にA・L・Tを計画的に配置しています。英語の授業を中心にA・L・Tを活用することで言語活動を充実させ、生徒の英語力を高めるとともに、物おしせず外国人と英語を使って積極的にコミュニケーションを図ることのできるグローバル人材の育成を目指しています。



(3) 北九州市英語教育小中連携研究協議会

A・L・Tを有効に活用しながら、小学校一年から中学校三年までの義務教育九年間を見通した英語教育の在り方について、市内八中学校区において、効果的な指導方法の研究を行っています。その研究成果を市内の全小中学校へ広めることで、英語教育の充実を図っています。

- 東郷中学校区…東郷中、大積小、白野江小、柄杓田小
- 霧丘中学校区…霧丘中、足原小、霧丘小、寿山小
- 曾根中学校区…曾根中、曾根小、曾根東小
- 石峯中学校区…石峯中、藤木小、古前小
- 高見中学校区…高見中、高見小、槻田小
- 浅川中学校区…浅川中、医生丘小、光貞小
- 千代中学校区…千代中、池田小、千代小
- 高中生校区…高中生、牧山小



第9回「イングリッシュコンテスト北九州」

10月5日(土)に、ウェルとばた及び戸畑生涯学習センターにおいて、第9回「イングリッシュコンテスト北九州」が開催され、市立中学校の生徒262名が自分の英語表現力を披露しました。



“Believe in yourself and your friends.” (自分自身と友だちを信じなさい。)



課題A 最優秀賞 テーマ①

I invented the “Creative Drama Club” (私は自分たちで劇を作る演劇部を考えました。)



課題B 最優秀賞 テーマ②

参加中学生は、夏季休業期間中から、英語科の先生や外国人指導助手(A・L・T)に英語の発音、スピーチの構成、表現方法などの指導を受けながら、熱心に練習を重ねました。当日は緊張しながらも、大勢の聴衆を前に堂々とした発表ができました。年々、参加中学生の英語表現力が高まっていることが感じられる素晴らしいコンテストとなりました。

課題部門

参加中学生 **46名** (2グループ)

最優秀賞 各グループ1名 / 優秀賞 各グループ4名

3つのテーマから1つ選び、自分の考えを3分程度の英文にまとめ、発表する。

テーマ

- ① My favorite proverb or quote that inspired me (私を勇気づけたことわざや名言)
- ② Invent a new club activity (新しい部活動を作ろう)
- ③ What I am passionate about (私が夢になっていること)

暗唱部門

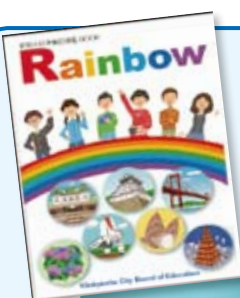
参加中学生 **176名** (8グループ)

最優秀賞 各グループ1名 / 優秀賞 各グループ3名

「英語大好き音読暗唱BOOK Rainbow」から選ばれた3つの題材から1つ選び、暗唱する。

テーマ

- ① 「北九州市の紹介」 (英単語数248語)
- ② 「セヴァン スズキ」 (英単語数237語)
- ③ 「キング牧師」 (英単語数209語)



英語大好き音読暗唱 BOOK Rainbow

本年度4月に市内の中学1年生に配布した「英語大好き音読暗唱 BOOK Rainbow」は、英語の授業で活用され、中学生の「音読の力」や「英語を話す力」を伸ばすことに役立てられています。

8月に行われた「仁川市英語村中学生派遣事業」では、Rainbowの中にある、「北九州市の紹介」「カッパ地蔵」等を覚えて、仁川市の中学生に北九州市を紹介し、交流を深めることができました。

また、今年度の第9回「イングリッシュコンテスト北九州」の暗唱課題はこのRainbowの中から選ばれ、多くの中学生に活用されています。

英語の授業はもちろん、学習発表会等でRainbowの題材を暗唱したり、学年で群読(複数の読み手による朗読のこと)したり、市内の多くの中学校で積極的に活用されています。



目標を明確にし、ひたむきに努力

北九州市教育委員

彌登章



盲導犬候補犬「ポルト」
パピーウォーカー中

十月九日付で、北九州市教育委員を拝命いたしました。自己紹介も兼ねまして、私の子供時代の事を少し話してみたいと思います。

昭和二十二年生まれですので、幼稚園、小学校低学年のころは、まだまだ日本経済も恵まれた環境ではなかった時代でした。しかし、みんな貧しくても明るく元気だったような気がします。冬はしもやけができて、

痛がゆかった事が思い出されますが、今の子供達は「しもやけ」が出来るのでしょうか。

私は小学五年生の頃、映画の『姿三四郎』を見て「僕も柔道をやろう」と、そして「自分も姿三四郎になる」と子供心で思ったのがきっかけで柔道を始めたのでした。フランスのサッカーの名選手ジダン、日本のアニメ「キャプテン翼」を見てサッカーを始めたの事。動機は何であれ「自分がやりたい事」を見つけたというのは大変なことだと思います。以来私は、中学校を卒業後、県外の高校に進みました。今というスポーツ留学です。練習の厳しさに何度か柔道を始めたことを後悔しましたが、友人、先輩、そして人生の師とも言える指導者との出会いが大きな支えになりました。

その先生は私に、三年生で県のチャンピオン、そして県代表で国体に出場という目標に向けてご指導して下さいました。当時はとても無理だと思いつつも練習に励んでいましたら、二年後、目標が手に届くところに来たのです。そしてそれが実現できたのです。

目標を明確にし、目標に向かってひたむきに努力する事で目標を手に入れることに近づけると確信しました。大学時代も同じように目標を決め日々努力する事で良い結果を手に入れる事ができたのでした。勉強も同じです。以来、私は自分の三人の子供にも目標を自分自身で決め、努力する事を進めてきました。諦めずに努力すれば大概の事は出来ると思っています。

小学校低学年の頃は祖父母と生活する時間が多く、箸の持ち方、食事の好き嫌いについては特に厳しく言われました。そのおかげか、物事の見方や考え方も食生活同様、バランスが良くなったと思っています。また、祖父からはよく叱られていました。祖父はとても上手に叱ります。いつも叱られているものだから、私自身も叱られ上手になりました。「叱り上手」と「叱られ上手」。怒るのではなく、叱るのです。愛情を持って本気で。しつけをしてくれた祖父母が亡くなって五十年たった今でも思い出します。「核家族」化した今、家庭でのしつけの重要性が問われているのではないのでしょうか。「教育問題」「教育改革」と言うとき、いじめ問題、ゆとり教育の是非、小学校への英語導入等、大変幅も広く、奥の深いものばかりです。一朝一夕で解決できるものではないと思っております。世代間格差が広がった今、人を育てる事の難しさを痛感しております。愛情を持って家庭、学校、地域社会、そして教育に関わる私達が力を合わせ、知恵を出し、教育立国日本を再建しようではありませんか。

親は子供のよき理解者であり、節度ある最高の応援団でなくてはなりません。北九州市民憲章の最後に「学ぶ楽しさを深め文化のおおきにします」とあります。多くの市民の方々のご協力と、教育に携わる人達の英知と努力が今問われているのです。北九州市、日本の未来のために。

2013 ダンスフェスティバル

10月19日(土)に、北九州芸術劇場大ホールにて、小学校8校・中学校5校から、参加児童生徒及び応援の保護者の皆さんを合わせて、約1000人が集い、「2013 ダンスフェスティバル」が盛大に開催されました。今回より、北九州市薬剤師会が主催となり、ホールロビーの専用ブースでは、青少年向けの薬物乱用防止啓発活動も同時開催されました。司会進行をタレントの山本華世さんに務めていただき、演技前の紹介から、演技後のインタビュー等、前回までにはない華やかな演出もあり、大盛会となりました。

「北九州市キッズダンス」「ダンスフォーザフューチャー」をベースに、各学校で創る演技内容のレベルも高まっており、個々のダンスのスキルと共に、演技全体の構成も大変に工夫され、充実した演技の連続でした。恒例となった北九州市立高校ダンス部のデモンストレーション演技もあり、参加児童生徒にとって大変思い出深いものになった大会でした。来年度以降の開催も決まっています。是非参加を考えてみてください。



小学校の部 最優秀 江川小学校



中学校の部 最優秀 早鞆中学校

北九州市立高校ダンス部が
市民文化賞受賞!

北九州市立高校ダンス部が市民文化賞を受賞し、その表彰式が12月10日に行われました。同校ダンス部は2001年の創部以来、国際大会で優勝するなど輝かしい実績を残すとともに、北九州市主催の各種イベントに数多く参加し、彩りを添えてきました。

また、東日本大震災の支援として同校吹奏楽部とともにチャリティーコンサートを企画したり、昨年8月には実際に岩手県釜石市を訪問しダンスを披露したりするなど、高校生でもできる様々な取り組みを考え、現在も実践中です。

今回、このような幅広い活動が認められ市民文化賞の栄誉に輝きました。



早鞆中学校

平成25年度
「教育力向上福岡県民運動優秀実践校」
として表彰されました。



早鞆中学校では、生徒会が中心となった学校美化活動『一人一鉢プランター運動』に取り組んでいます。そして、この取り組みは、地域や小学校とも連携して行うことで、地域にも広がり、地域清掃活動などの地域環境のための自主活動へと発展しています。

これらの活動を通じた地域の方との交流により、生徒の郷土愛を育むとともに、地域から信頼される学校へと大きく変貌しています。さらに、花いっぱいとなった学校や地域は、生徒たちの自慢となっています。このたび、地域ぐるみの花づくりを通じた心を育てる環境教育の取り組みが評価され、表彰に至りました。



教育委員会の事務の管理
及び執行の状況の点検
及び評価について

教育委員会では、「子どもの未来をひらく教育プラン」「生涯学習推進計画」に掲載された施策の執行状況について、自己点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、ホームページで公表しています。

平成24年度の評価結果は、全15施策のうち、A評価(大変順調)が「地域と連携した学校運営の実現」の1施策、B評価(順調)が「心の育ちの推進」「特別支援教育の充実」など14施策でした。この結果を今後の施策に生かし、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

戸畑図書館の移転
リニューアルオープン

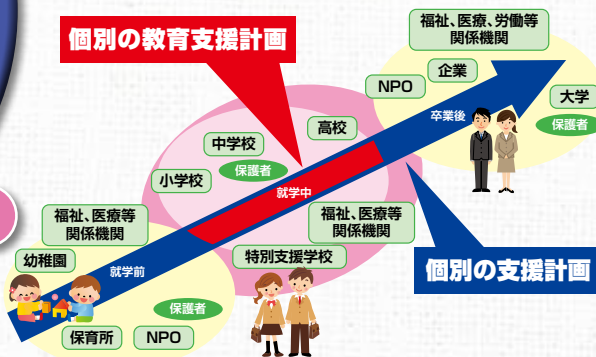
平成26年春に、旧戸畑区役所庁舎が、新たに図書館として生まれ変わります。



教育の現場から

第8回

特別支援教育は、子どもの可能性を最大限に伸ばすことを目指します!



～各学校はさまざまな関係機関とネットワークを作って、
子どもの成長に応じて一貫した支援をします～

特別な教育的支援を必要とする子ども一人一人が、充実した学校生活を送るために「個別の教育支援計画」の作成・活用を進めています。

「個別の教育支援計画」とは本人や保護者・学校をはじめ、子どもに関わるさまざまな関係機関が連携しながら、学校入学から卒業まで一貫した支援を行うために作成する計画です。

☆連続性のある多様な学びの場を提供します☆



通常の学級

通級による指導

特別支援学級

特別支援学校

通級相談

通常の学級に在籍し、言語・聴覚・視覚・情緒面に一部特別な教育的支援が必要な児童生徒や医療機関等でLD・ADHDの判断を受けた児童生徒を対象に、通級による指導が必要であるかどうかを判断するために相談を行います。

申込期間 平成26年6月初旬～9月5日(金)まで

就学相談

特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒の自立や社会参加に向け、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるために、適切な学びの場の相談を行います。

申込期間 平成26年4月初旬～7月1日(火)まで

申込は早めをお願いします

特別支援学校

特別支援学校は、特別な教育的支援が比較的多い子ども達一人一人に応じた教育を行っています。(小学部・中学部・高等部)

対象：知的障害・肢体不自由・病弱

○特別支援学校(知的障害)

身近の自立や社会生活に必要な基本的知識・技能などを学習しています。



○学校紹介：北九州中央高等学園

高等部のみの特別支援学校で、就業と自立や社会参加を目指した学習をしています。日頃学校等で学んだ職業技能を競う「アビリンピック」福岡大会の喫茶サービス種目に出場しました。



特別支援学級

特別支援学級は、特別な教育的支援が比較的小さい子ども達に、少人数の学級編制で教育を行っています。

○知的障害特別支援学級

(小学校71校 中学校40校に設置)

小学校…社会生活に必要な基礎的知識・技能等を学習しています。
中学校…小学校での学習を踏まえ、各教科学習と自立や社会参加に向けた作業学習等を行っています。



食育の指導の一環として栽培活動を行っています。

○自閉症・情緒障害特別支援学級

(小学校37校 中学校13校に設置)

情緒の安定を図りながら、人との円滑な関わり方を学習しています。

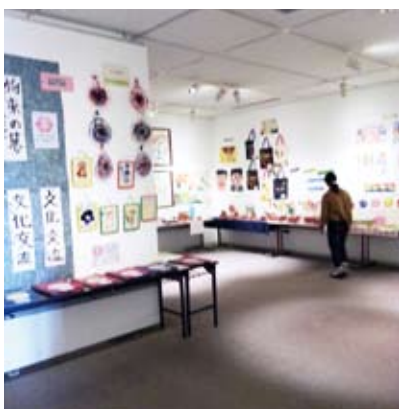


○難聴特別支援学級

(小学校4校 中学校2校に設置)

言葉の聞き取りや発音の仕方等について学習しています。

特別支援学校・特別支援学級合同作品展



特別支援学校小学部・小学校特別支援学級に在籍する児童の絵画・工作・書写・陶芸等の作品を一堂に集めた作品展を、リバーウォーク北九州の市民ギャラリーにて開催しました。(11/14～11/19)

参加校92校 出品点数622点 観覧者数1745名

特別支援学級合同スポーツ大会

特別支援学級の児童生徒が、風船バレーボール等のスポーツを通して交流し、親睦を深めました。



今年度、小学校は区ごとに分かれて実施しました。



今年度、中学校は全市一斉に総合体育館で実施しました。

グローバル人材育成を目指した韓国仁川市英語村中学生派遣事業

北九州市と大韓民国の仁川市は、姉妹都市です。本年度は、姉妹都市提携 25 周年となります。これを記念して、本市の市立中学校から 70 名の中学生を親善大使として派遣し、現地中学生との英語を使ったコミュニケーション交流体験や英語のみでの授業体験等を行いました。

場所 大韓民国（仁川市英語村・ソウル市内）

期日 平成25年8月1日（木）～8月6日（火） 5泊6日

本市発祥の風船バレーでの交流



誰もが楽しめるスポーツとして、北九州市発祥の風船バレーを仁川市の中学生に紹介しました。

鈴のついた大きな風船を使って、グループごとに楽しみました。

ソウル市内見学

大韓民国の首都であるソウルを見学しました。景福宮や南大門を訪問することで、大韓民国の伝統や文化にふれることができました。



景福宮



南大門

本市のキッズダンスでの交流



北九州市のキッズダンスを紹介し、仁川市の中学生と共にダンス交流を行いました。音楽に合わせて、楽しく踊るうちに、どんどん気持ちが近くなるのを感じました。

英語のみによる授業へのチャレンジ



科学の授業では、仁川市の中学生とともに「高いところから卵を落とすとしても割れないようにするための装置」を協力して作成しました。先生からの指示や説明、友達と相談するときも全てが英語での授業でした。初めは、とまどう場面もありましたが、知っている英語を話したり、ジェスチャーを使ったりすることによって伝え合い楽しく実験をすることができました。

なかなか伝わらなくても、話そうとする気持ちを持ち、積極的に話しかけることでお互いに分かり合えるというすばらしさを体験することができました。

なかなか伝わらなくても、話そうとする気持ちを持ち、積極的に話しかけることでお互いに分かり合えるというすばらしさを体験することができました。

北九州市と仁川市との相互文化紹介



仁川市の中学生と、お互いの市の文化を紹介し合いました。北九州市からは、12グループのそれぞれが、北九州市教育委員会が本年度作成した「英語大好き音読暗唱BOOK Rainbow」を活用して発表をしました。「カッパ地蔵」「松本清張」「北九州市の紹介」「ふるさとかるた」など北九州市にゆかりのある題材を選び、夏休み前から練習・準備をして、英語での発表にチャレンジしました。仁川市の中学生は、自分の住む地域で採れる有名な農作物や得意な踊りなどを英語で紹介してくれました。お互いの市のよさを知ることができた有意義な時間でした。

いちいがしの植樹

北九州市の花は「ひまわり」と「つつじ」であることはご存知かと思います。北九州市のシンボルツリーが「いちいがし」であることをご存知ですか？

「いちいがし」は、漢字で「一位檜」と書きます。檜の木の中でも、樹が一直線に天に向かっていく見事な樹形から「一等賞の檜」ともいわれているからです。

かつて、この地に広がっていた「いちいがし」は、人々の暮らしが豊かになるにつれて失われていきました。私たちが失われていった自然があることに気づき、市民が人と自然とのつながりを考えて行動ができるよう願いを込めて、昭和49年に「いちいがし」を北九州市のシンボルツリーと決めました。



今回、市制50周年の記念事業として、北九州市がこれまで歩んできた歴史を子ども達に受け継いで行くとともに、自然保護のシンボルとして、そして、これからも北九州市が目指していくべき姿を象徴する願いを込めて、全ての市立小・中学校に「いちいがし」の植樹を行っています。

家庭学習

チャレンジハンドブック

教育委員会では、学力向上に向けての新たな取組として児童生徒が、家庭学習の必要性を感じ、自主的・計画的・継続的に家庭学習に取り組めるよう学習内容や学習方法を示した手引書「家庭学習チャレンジハンドブック」を作成します。

本書は、小学校1年生～4年生用と小学校5年生～中学校3年生用に分かれており、全児童生徒を対象に配布されます。内容は、家庭学習のアイデアや学習の仕方、自分の学びの足跡が実感できるページ等があり、見て、読んで、使って、楽しいハンドブックになっています。また、保護者向けのページもあり、家庭学習の意義や家庭学習を支えるポイント等についても分かりやすく解説しています。

本書を活用し、家庭と学校が手をとり合って、家庭学習を充実させ、家庭での学習時間の絶対量の不足を解消し、自ら学習する子ども達を共に育てていきましょう。

